

MUJI Labo

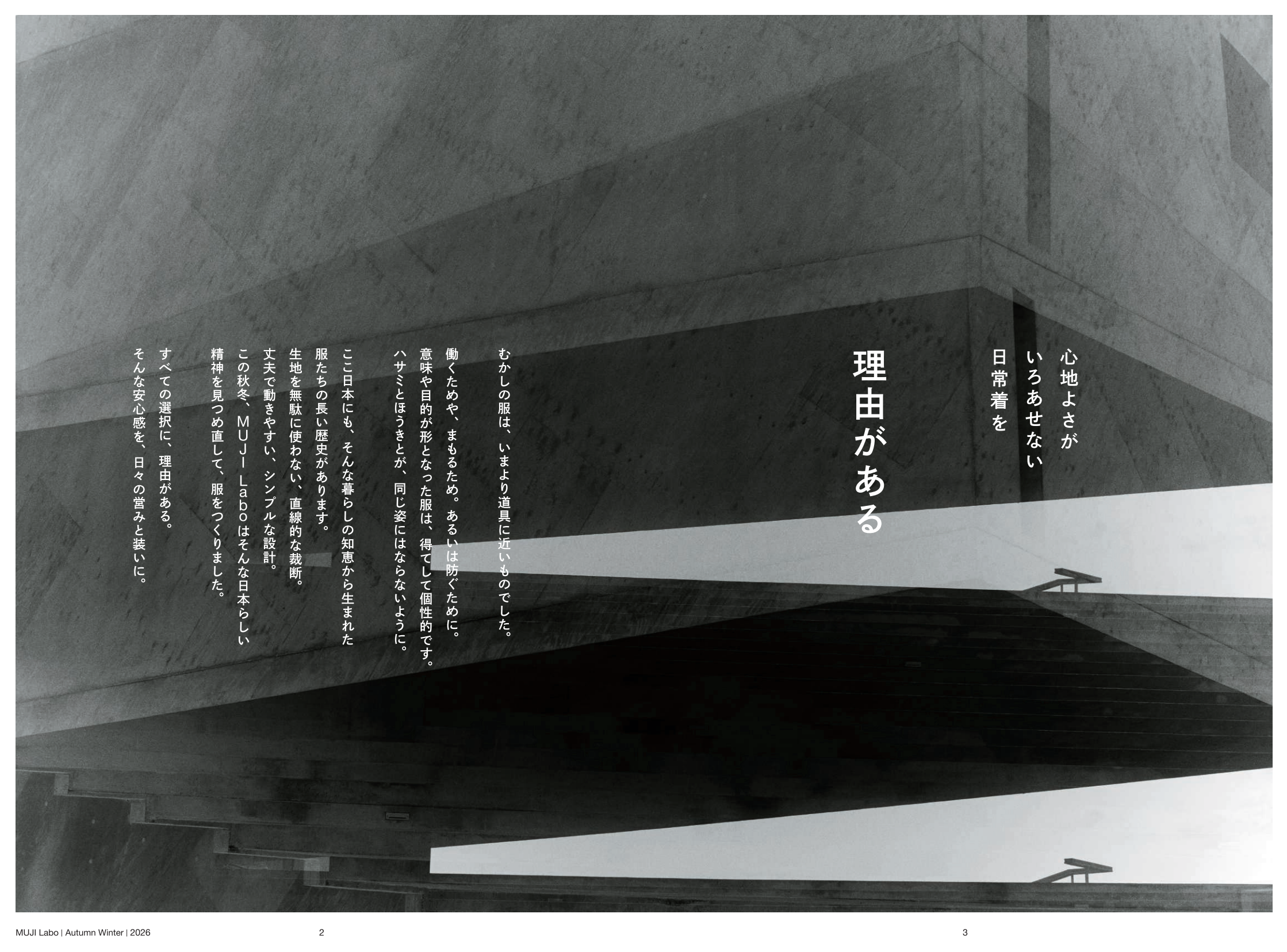
Autumn Winter
2026

MUJI Labo
特集ページはこちら



○価格表記はすべて消費税込みです。○掲載商品の仕様・価格・デザインなどは予告なく変更する場合がございます。あらかじめご了承ください。○印刷の都合上、実物と多少色・仕様が異なる場合がございます。○店舗によって品揃えが異なることがあります。また、数量に限りのある商品もございますので、品切れの場合はご容赦ください。○商品の発売日や入荷時期の詳細につきましては、取り扱い店舗へお問い合わせください。○サイズなどは多少の個体差がございます。○発行：2026年7月 ○発行元：株式会社良品計画 〒112-0004 東京都文京区後楽 2-5-1 住友不動産飯田橋ファーストビル





心地よさが
いろあせない
日常着を

理由がある

むかしの服は、いまより道具に近いものでした。

働くためや、まもるため。あるいは防ぐために。
意味や目的が形となった服は、得てして个性的です。
ハサミとほうきとが、同じ姿にはならないように。

ここ日本にも、そんな暮らしの知恵から生まれた
服たちの長い歴史があります。

生地を無駄に使わない、直線的な裁断。
丈夫で動きやすい、シンプルな設計。

この秋冬、MUJI Laboはそんな日本らしい
精神を見つめ直して、服をつくりました。

すべての選択に、理由がある。

そんな安心感を、日々の営みと装いに。

01

着想

必要なものは
どんなものか
未来のヒントは
どこにあるのか

MUJI Laboの服には、いつもたいてい、物語があります。
こんなワードローブがあったなら。そんな会話から
始まったり、世界を巡って出会った景色や
ものづくりの知見が、新たな気づきをもたらしたり。
共通するのは、まだないものをつくりたいという想い。
要らないものは、つくらないように。
これからの私たちの暮らしには、なにが必要なだろう。
そのヒントが、実は過去のどこかにあったりするのです。





【紳士】

Outer : 撥水ポリエステルタフジャケット
¥12,900 / Cut sew : 男女兼用 スムースジャ
ジー長袖ブルオーバー ¥4,990 / Pants : 撥水ポリ
エステルタフタイージーパンツ ¥7,990 / Shoes :
レザーミドルカットスニーカー ¥22,900

【婦人】

Outer : 撥水ポリエステルタフジャケット
¥9,990 / Cut sew : リネン混 半袖 T シャツ
¥3,990 / Skirt : 撥水ポリエステルタフタック
イーゼースカート ¥7,990 / Shoes : レザーミドル
カットスニーカー ¥22,900

きれいに保てる
シエイプメモリーの
軽やかジャケット

光沢を抑えたポリエステル仕立ての
アウターには形状記憶性があるて、
シワも手でならせば元通りに。
紳士は三つボタンのテラード、
婦人は短めのシャツのような形。
襟にあしらった太い8番ステッチは、
日本の古い手縫いの仕事着への
憧憬を重ねて選びました。



【紳士】

Cut sew：昔ながらの製法で編み立てたスウェットブルオーバー ¥6,990 / Cut sew (Inner)：和歌山で編み立てた天竺クルーネック半袖Tシャツ ¥4,990 / Pants：再生コットン混パンツ ¥9,990 / Belt：男女兼用 オリーブ油の副産物で鞆したレザー ホールレスベルト ¥6,990 / Shoes：キャンバスローカットスニーカー ¥15,900

ゆっくりと生地にしていく昔ながらの編み機で、編み立てた生地を下から上へ巻き上げていきます。生産には長い時間を要する代わりに、空気を含んでやわらかく仕上がるこの編み立て方を採用しました。肉厚なのにふわふわで、袖を通すとまるでニットのように。首元は、バインダー仕様にして伸びにくく仕上げました。

昔ながらの製法で
編み立てた
ふんわりスウェット





【婦人】

Cut sew : コットンカシミアタートルネックノース
リーブTシャツ ¥3,990 / Cut sew : コットンカシ
ミアクルーネックTシャツ ¥3,990 / Pants : コッ
トンヤクタックワイドパンツ ¥7,990 / Belt : 男女
兼用 オリーブ油の副産物で鞣したレザー ホールレ
スベルト ¥6,990

素肌に馴染む
デイリーユースの
コットンカシミア

カシミアをもっと日常的に
着られるよう、コットンを混紡した
カットソーにしました。
二重になった接結の生地は、
洗濯でポコポコと立体感のある表情に。
汗ばも肌に触れても気持ちよく、
寒いときは暖かさを保ってくれます。
形違いでの組み合わせもおすすです。

〔紳士〕

Knit : カシミアミドルゲージクルーネックセーター ¥29,900 / Pants : コットンヤクイージーパンツ ¥7,990 / Belt : 男女兼用 オリーブ油の副産物で鞣したレザー ホールレスベルト ¥6,990

〔婦人〕

Knit : ファーカシミア ベスト ¥27,900 / Knit : ファーカシミア クルーネックセーター ¥29,900 / Pants : 再生カシミア混テーパードパンツ ¥14,900 / Belt : 男女兼用 オリーブ油の副産物で鞣したレザー ホールレスベルト ¥6,990

通常は漂白・染色するカシミアの糸を、元の色のまま紡績して編み立てました。夏になって生え変わるとききの毛を使う、ヤギへの負担が少ないやり方です。やわらかな質感が一枚で着ても映えて、コートの下にも着やすいミドルゲージ。婦人は起毛でファーのような風合いに。

自然のまんまの色の カシミアニット





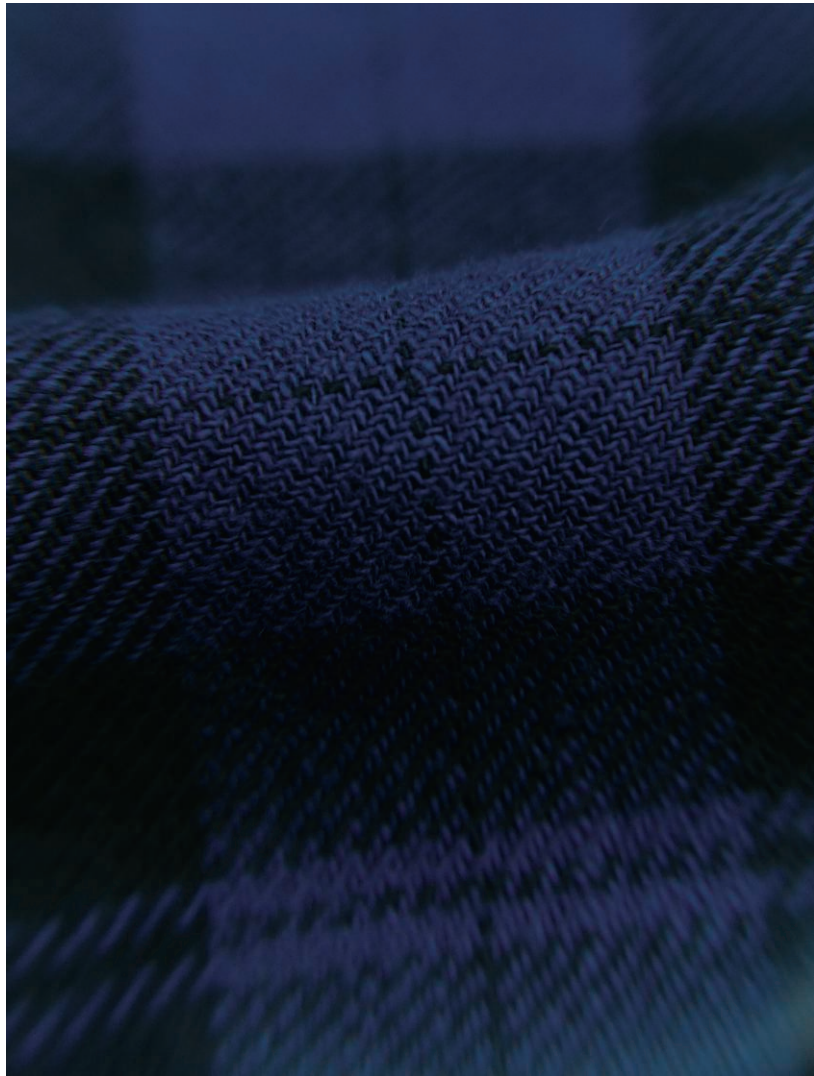
Autumn 2026

素材

個性が活ければ
服が活きてくる
だからできるだけ
いいものを

ロゴもサインも入らないMUJI Laboの服たちは
一見すると物静かに感じるかもしれません。
けれど、その分、素材は雄弁に語ります。
例えば天然の原料には、それぞれの気候や環境の中で
生きてゆくための、多くの機能が備わっています。
それを人がつくった技術が補うこともあるでしょう。
大切なのは素材の個性を見極め、適した場所で使うこと。
だからMUJI Laboは、素材に強くこだわります。





〔紳士〕

Shirt：昔ながらの紡績機を使った ムラ糸長袖シャツ ¥12,900 / Cut sew：和歌山で編み立てた天竺クルーネック長袖Tシャツ ¥6,990 / Pants：再生コットン混パンツ ¥9,990 / Belt：男女兼用 オリーブ油の副産物で鞣したレザー ホールレスベルト ¥6,990 / Shoes：キャンバスローカットスニーカー ¥15,900

偶然見つけた、約50年前の紡績機。それを整備・改造して昔ながらの木綿のムラ糸で紡ぎ、ふっくら織り上げたチェック柄の生地。洗うほど体に馴染んで表情豊かになります。今では失われつつある、ものづくりの現場の知恵や技術が活きたシャツです。

旧式の製法で
味わいを増した
チェックシャツ





〔婦人：左〕

Knit：リヤマ混ローゲージロングカーディガン ¥14,900 / Cut sew：コットンカシミアタートルネックノースリーブTシャツ ¥3,990 / Pants：コットンヤクタックワイドパンツ ¥7,990 / Belt：男女兼用 オリーブ油の副産物で鞣したレザー ホールレスベルト ¥6,990 / Shoes：レザーミドルカットスニーカー ¥22,900

〔婦人：右〕

Knit：リヤマハイゲージボレロ ¥7,990 / Inner：シルクリブタンクトップ ¥4,990 / Pants：再生コットン混バレルパンツ ¥9,990



リヤマ混で
気持ちがほころぶ
ヘアリーなニット

MUJI Laboの産地開発チームが、ボリビアで出会ったリヤマは、細くて長い産毛を持っていた。それを原毛としたニットは、ふっくらとしていて、暖かさ也十分。直線的なカッティングの、短丈トップスはボレロのように、ロングカーディガンは、コート感覚でさっと羽織って。



【紳士】

Outer：再生カシミア混テラードジャケット ¥24,900 / Shirt：ウール混レギュラーカラー長袖シャツ ¥9,990 / Pants：再生カシミア混イージーパンツ ¥14,900 / Shoes：レザーミドルカットスニーカー ¥22,900

カシミア混の 快適なセットアップ

毛織物の名産地、尾州の再生カシミアを使ったジャケットとパンツ。一見ただのブラウンのようですが、実は様々な色合いの繊維が混在した奥行きのあるトーンです。芯地はラベルのみで、裏地も最小限。ゆとりもあって、ラフに着られるのが利点です。





〔左〕

Shoes : 紳士 レザーミドルカットスニーカー
Shoes : 婦人 レザーミドルカットスニーカー各
¥22,900

〔中心〕

Socks : 足なり直角 日本で編みたてたウール混
ローゲージ靴下 各 ¥1,990

〔右〕

Hat : 再生カシミア混キャップ ¥5,990 / Hat : カ
シミア混ニットベレー帽 ¥4,990 / Stole : カシ
ミヤストール 各 ¥12,900

控えめでも
表情豊かな
秋冬の小物たち

カシミアを使用したキャップやストール。
20 年来的ロングセラー、
足なり直角靴下は、暖かく肌への
刺激が少ないウールのリブ編み。
そして、シボがきれいなカウレザー製の
スニーカーは、スベインで長年つづく
老舗シューメイカーと一緒に
足なりの木型でつくりました。
寒空の日に、あたたかみと豊かさを。

形

つくる理由を
考えると
あるべき形が
見えてくる

シンプルであることはたしかに大切です。
けれど、それはただの無難とはまるで違います。
MUJI Laboでは、すべての形には意味があるべきで
見栄えのために奇をてらったフォルムや
バランスにすることは決してありません。
着心地を良くするために、より実用的であるために。
もし、少し不思議な形を見つけたのなら、
それは私たちの創意や工夫の足あとです。





ゆったり膝丈の
リラックスした
カシミアコート

暖かいコートを、
もって軽くて動きやすく。
そんな想いでつくった一着には
再生カシミアを使っていて、
やわらかく仕立てたので
肌触りの良さもひとしおです。
見た目の重みに反して軽快で、
ヨークとつながった直線的な袖は、
フィット感も腕の自由度も抜群です。

〔紳士〕

Outer : 再生カシミア混二重織リステンカラーコート ¥34,900 / Knit : カシミア混 ミドルゲージスタン
ドカラーカーディガン ¥17,900 / Pants : 再生
カシミア混イージーパンツ ¥14,900 / Shoes : レ
ザーミドルカットスニーカー ¥22,900

【紳士】

Shirt : ポプリンレギュラーカラー長袖シャツ ¥7,990 / Pants : コットンヤクダボパンツ ¥9,990 / Belt : 男女兼用 オリーブ油の副産物で鞆したレザー ホールレスベルト ¥6,990 / Shoes : キャンバスローカットスニーカー ¥15,900

【婦人】

Shirt : ポプリスタンドカラー長袖シャツ ¥6,990 / Cut sew : リネン混タンクトップ ¥2,990 / Pants : コットンヤクダボパンツ ¥9,990 / Shoes : レザーミドルカットスニーカー ¥22,900

ふくらみとハリ、しなやかさを備えた
コットンヤクのツイル生地。
空気をはらんだ太めのパンツは、
その質感がよく映えるアイテムです。
少しだけ短めの丈で、
合わせるシューズを選びません。
婦人は袴を着想源にした、
ベルトなしではけるつくりです。

やさしい厚み コットンヤクの ワイドパンツ





**構築的で
水濡れに強い
ダウンジャケット**

750フィルパワーの羽毛を使った暖かなダウンジャケット。蓮の葉が水を弾くことに着目し、糸の形を調整することで水滴が滑り落ちる特別な生地ができました。肩に縫い目がなく、水が染み込みにくい設計も手伝って、雨の日にも気兼ねなく着られます。

【紳士】

Outer : 撥水フード付きダウンジャケット ¥24,900
/ Pants : コットンヤクワイジーパンツ ¥7,990 /
Shoes : レザーミドルカットスニーカー ¥22,900

【婦人】

Outer : 撥水スタンドカラーダウンショートジャケット ¥22,900 / Cut sew : コットンカシミヤタートルネックTシャツ ¥3,990 / Pants : 再生カシミア混テーパーパンツ ¥14,900 / Shoes : キャンバスローカットスニーカー ¥15,900

A fashion advertisement featuring a man and a woman in minimalist clothing. The man stands on the left, wearing a long, dark grey coat over a black turtleneck and dark trousers. The woman sits on the right, wearing a dark, long-sleeved top and wide-leg trousers. They are positioned on a wide set of concrete steps under a large, dark concrete structure. The background is a light, overcast sky.

Winter 2026

MUJI Laboは、
無印良品のすこし先の未来です。

例えば、動物や草木の歴史がそうであるように
なにかが進化するとき、そこには必然があります。
変わりつつける環境に適応するために。
より良い形でこれから生きてゆくために。
そして、優れた進化を遂げたものの個性は
次の時代の「あたりまえ」として広まってゆくのです。
一切の無駄はなく、誇示されることもなく。
誰が為したのかも、そこでは意味を持ちません。
残るのはただ、そうであるべき理由だけ。

MUJI Laboのものづくりは
そんないきものの進化と似ています。

無印良品がこれからの時代を生きる人々にとって、
もっと良いものであるよう、必然性のある選択を。
きつと完成というものはないでしょう。
けれど、そこにまだ見ぬ可能性が、きつとあるから。
それが、MUJI Laboが自問自答を続ける理由です。

未来の無印良品の、あたりまえを形にするために。

